

都市再生整備計画 事後評価シート
阿見西部地区

平成25年12月

茨城県阿見町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	阿見町		地区名	阿見西部地区			面積	626ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	1,627.9百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】都市計画道路荒川沖・寺子線 【道路】町道第1011号線他11(道路改築) 【道路】町道第0103号線他4(道路修繕) 【高次都市施設】コミュニティセンター駐車場整備 【土地区画整理事業】本郷第一地区										
		提案事業	【地域創造支援事業】町界町名地番整理(本郷第一地区) 【地域創造支援事業】公共施設情報板設置 【地域創造支援事業】防犯カメラ設置(朝日中学校他1) 【事業活用調査】事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路修繕2路線	現地精査の結果による、事業箇所の一部変更				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	-	-				-					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路改築6路線 道路修繕9路線 【道路】筑見団地町道(道路修繕)	良好な住環境を形成するため、道路改築・修繕を追加				目標1の「交通の利便性や安全性、歩行環境の向上を図り、だれもが住みたくなるような魅力あるまちづくりをめざす」に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。					
提案事業		-	-				-						
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	渋滞率	混雑度	2.03	H20	1.42	H25	モニタリング	1.72	△	あり ●	アクセス強化のために、都市計画道路荒川沖・寺子線等が整備され、交通混雑の緩和につながった。	平成26年9月
	指標2	建築戸数	戸	132	H20	290	H25		565	○	あり なし	良好な住宅地が形成されたことにより、建築戸数の増加につながった。	平成26年4月
	指標3	住環境に関する満足度	%	57.9	H20	60.3	H25		78.8	○	あり なし	生活道路や都市施設の整備等を実施したことで、住環境に関する満足度につながった。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	身近な生活道路の整備に関する満足度	%	44.6	H19	/			65.0	/	/	生活道路の整備を実施したことで、住環境に関する満足度につながった。	-
	その他の数値指標2	幹線道路の整備に関する満足度	%	59.1	H19	/			82.8	/	/	都市計画道路荒川沖・寺子線が整備され、広域的道路ネットワークが構築されたことにより、幹線道路の整備に関する満足度につながった。	-
その他の数値指標3					/								
4)定性的な効果発現状況	H25.8に実施したアンケート「阿見西部地区のまちづくりに関する調査」において、住環境に関する満足度及び公園整備に関する満足度が5年前と比べて「よくなった」と回答している割合がともに7割を超えており、良好な住環境が形成され、市街地としての魅力の向上に寄与していると考えられる。												
5)実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	なし		実施状況				今後の対応方針等					
				都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
住民参加プロセス	①景観審議会 ②荒川本郷地区まちづくり勉強会		都市再生整備計画に記載し、実施できた				①●						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				②●						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

阿見西部地区(茨城県阿見町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
安全・安心で住みよい快適なまちづくり ・交通の利便性や安全性、歩行環境の向上を図り、だれもが住みたくするような魅力あるまちづくりをめざす。 ・良好な住環境を形成し、市街地としての魅力を高めることで定着人口の増加をめざす。	渋滞率	単位:混雑度	2.03 H20	1.42 H25	1.72 H25
	建築戸数	単位:戸	132 H20	290 H25	565 H25
	住環境に関する満足度	単位:%	57.9 H20	60.3 H25	78.8 H25
	身近な生活道路の整備に関する満足度	単位:%	44.6 H19		65.0 H25
	幹線道路の整備に関する満足度	単位:%	59.1 H19		82.8 H25

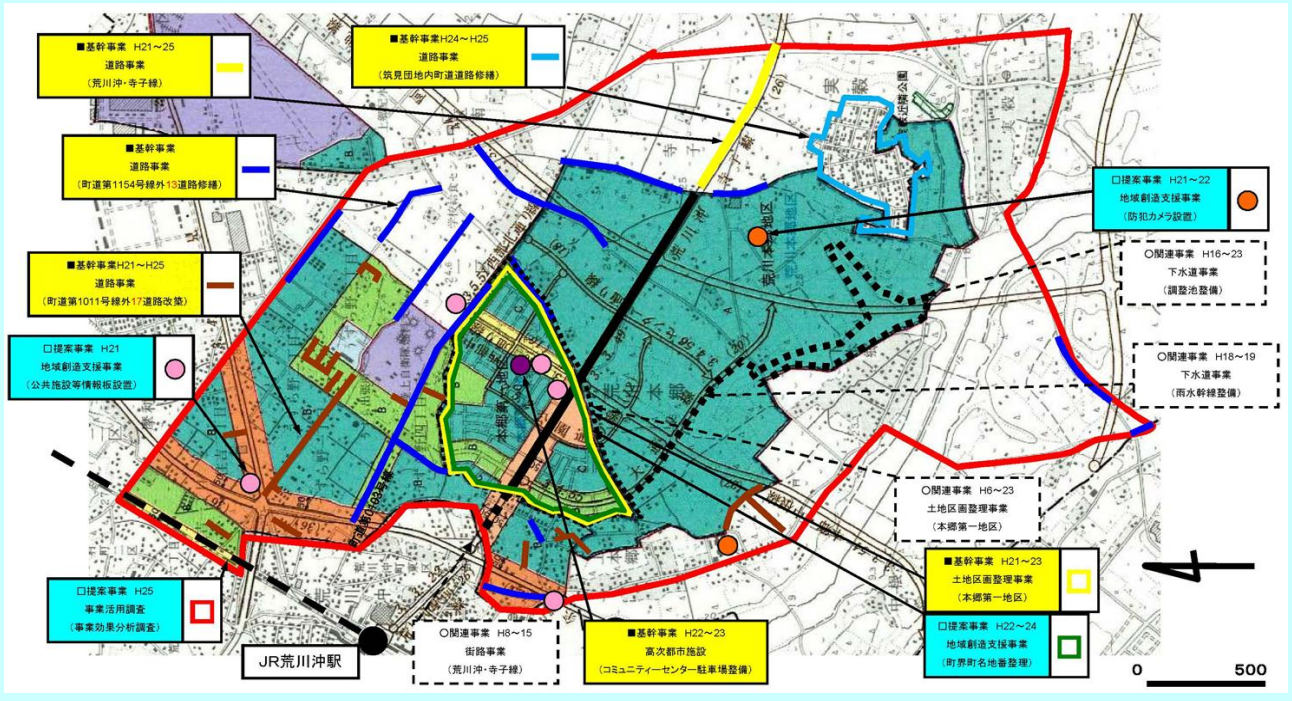


都市計画道路荒川沖・寺子線整備



公共施設等情報板設置

阿見西部地区
626ha



土地区画整理事業(本郷親水公園)



本郷ふれあいセンター駐車場整



防犯カメラ設置(本郷小学校)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹事業である幹線道路の整備により、既存幹線道路の渋滞が緩和され、利便性・安全性の向上が図れたが、地区外も含めたさらなる道路ネットワークの構築が必要である。 ・土地区画整理区域を中心とした良好で質の高い都市基盤の構築や生活道路や都市施設の整備により、定着人口の増加が図られたが、土地区画整理区域外において、日常生活において支障をきたしていたり、交通事故が発生しているような危険な既存道路の改築、修繕(道路の舗装、排水の入れ替え等)を継続して進めていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の状況について適宜、地域と情報交換を行いながら、適切な道路の維持管理に努め、安全で快適な住環境を保全する。 ・周辺のアクセス道路の整備により、広域道路ネットワークの構築を図る。 ・地域の意向を踏まえながら、道路整備(改築・修繕)を実施し、安心安全な歩行空間の確保や、より快適な住環境を提供する。